



TITLE:

<雑録> 北京圖書館善本のゆくえ

AUTHOR(S):

日比野, 丈夫

---

CITATION:

日比野, 丈夫. <雑録> 北京圖書館善本のゆくえ. 東洋史研究 1942, 7(2-3): 109-109

ISSUE DATE:

1942-07-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/138826>

RIGHT:

### 北京圖書館善本のゆくえ

六月五日附の北京の新民報には、次のやうなリスボン電報を載せてゐる

「ニューヨーク時報に曰く、國立北京圖書館舊藏の貴重書・三千冊が已に重慶から米國に運ばれた。これはたゞ戦争の期間中その保管を委ねるといふ意味であつて、戦争終了後には當然重慶に返還すべきものである。重慶の駐米大使胡適は、已にその寫眞を米國圖書館に保存することを許諾した。その中には歐洲に於ける印刷術發明以前のものがあつた。また古百科全書・中國故事・明代皇帝書冊及び文獻の如きもあつて、年代は一三六八年乃至一六四四年のものである。就中最古の印刷物は詩經で、一〇三四年の出版にかゝり、グッテンベルヒの印刷術發明より溯ること四百餘年である。

古百科全書とあるのは永樂大典、明代皇帝書冊及び文獻とあるのは明實錄であらう。詩經は一〇三四年といふと北宋景祐元年となるが、さやうな北宋板の詩經は、勿論「北平圖書館善本書目」にも見えず、未だ知られてゐないやうだから、何かの誤りかも知れない。(日比野)